

# 第9回 imajin 今人



ゲスト 愛媛県議会議員 徳永しげき氏

平成15年に愛媛県議会議員に初立候補、初当選以来、ずっと休む間もなく愛媛を思い続けて今もお愛媛を思う気持ちは誰にも負けない熱い男、徳永氏にインタビュ。「過分な結果で3期目のスタートをきらせて頂き、皆さんの声が一番伝わってきている時期ですね。」と意気揚々と熱いまなざしで今の取り組みや、考えについて語ってくれた。

地方政治が問われる今、最大の課題だと思ふのですが、地域活性化についてどのような考えをお持ちですか？

産業としては地域活性化のために新しい分野にも力を入れていきたいと思っています。地元で穫れるフルーツや野菜を使用し、栄養サプリメントを作ったり、裾野の広い産業を育てていきたいですね。それと、観光資源の発掘・連携です。この地域に昔からあって、よその地域には珍しい資源を見つけているのです。例えば、東温市の坊ちゃん劇場・低部焼き体験・道後温泉・今治自然塾・しまなみ海道でのサイクリング・島嶼部での農業、漁業体験・東洋のマチュピチュ（別子の近代産業遺産）等を修学旅行や企業の研修旅行等のモデルコースとして売り込み、交流人口の増大を提案しています。

愛媛県が体験学習のメッカになれるよ

う知恵と工夫を活かしたいですね。

徳永氏の立ち位置は？

自覚としては、県の監査役であり、新しい取り組みの提案者であり、行政でできないという理由を探させるのではなく、一緒にできる方向性を考えて行く立ち位置にしようと思っています。

とつても広い分野に渡り多くの取り組みをされていますが、近くではどんな事が？

8月は教科書の採択がありました。今は文教委員長をしていますが、検定で見ると僕たちの頃にはなかったような外国人参政権、自衛権などの問題に対して、適切な表記であるかどうかの問題になります。子供たちには自虐的な思いをもってもらいたくないし、正確な歴史事実を知ってもらいたいですね。

徳永ビジョンを聞かせて頂けますか？

島には素晴らしい資源がたくさんあるのに十分に活かされていません。「島博覧会」のようなイベントを開催することによって島の保有する可能性を多くの方々と共有し、発信していく仕掛けが必要ですね。出来れば、メイン事業として、しまなみ海道の車道を通行止めにして「ツール・ド・フランス」のように世界からサイクリストが集うイベントも作りたいたいですね。こうした想いに至った背景として、昨年行われた松山市中島でのイベントがあります。満天の空の下、さまざまな音を聞きながら80代のおばあちゃんの昔話を聞くという試みに、200人を超えての参加があったそうです。皆さん、癒しを求めて参加したんじゃないかな。こうした他市での成功事例を今治とい

う垣塙に落とし込み、今治オリジナルなイベントを地元の皆さんの力で練り上げて頂きたいのです。そのためのサポートに全力を傾けたいと思います。

他にも2時間を超えるインタビュで、取り組みのほんの一部である、橋の料金の事、今治の地元活性化策としての日曜市の提案、障がい者の扶助等、多くの問題点と提案について熱く語ってくれました。

これからの日本、これからの今治を支えていくことも達へのメッセージを。

こども達には、東北の被災地でどういふことが起きているのか見て欲しいです。相互扶助の心を養い、絆の大切さを学んで欲しいと思います。

バスケットボールの会長ですが、野球も好きですよ。

「がんばろう！日本」全国都道府県議会議員交流軟式野球大会イン愛媛で優勝しました！有難いことに副主将である僕も大会を通してのMVPに選んでいただきました。嬉しいやら恥ずかしいやら・・・。本当に皆さんのお陰です。最終回の守りで、捕手の玉井県議から「がんばろう！日本」と大声で掛け声がされました。来年の開催は宮城県です。本県を含む全国からの善意ある行動が被災地に届き、一刻も早い復興につながることを願っています。

最後に一言お願いします。

これからの様々の問題に対して、対処処方ではなく、根底から変える土壌づくりにしっかりと汗をかいていきます！

- 県議会文教警察委員長
- 県議会私学議連事務局長
- 県議会観光議連事務局長
- 自民党今治支部長
- 今治市体育協会常任理事
- 今治バスケットボール協会会長
- 今治市障害者団体連合会会長
- 今治市手をつなぐ育成会会長
- 今治市肢体不自由児者父母の会会長

### YUPIに教えてくれた

- 趣味 音楽鑑賞・演劇鑑賞
- ミュージカル鑑賞
- (坊っちゃん劇場の誓いのコインは最高)
- 好きなアーティスト 平井堅 今治が誇る Superfly



MVP 賞授与！

1 番レフト徳永氏

編集長 あとがき

今西同級生である徳永氏は持ち前の行動力に、議員としての責任感、知性が大幅アップ！ますます人間に磨きがかかり、この人はいったいどこまで行くのかと楽しみになります。この裏付けにはやはり、今迄の並外れた苦勞、勉強、頑張りがあるのでしょう。私たちのこの今の時代の重い荷物を背負い、道を照らしながら一緒に歩き続け、明るい未来へと導いてくれるであろうと、今後の政治に大いに期待しています。